

## (11) 一橋商工研究会記事

### 商 工 研 究 會

商業は国旗に従ふか国旗は商業に従ふか、吾人はその何れにも賛する能はず、両者は互に国威発展の因果たればなり、今や歐洲の戦乱は焰火四方に高く、交戦諸国の産業貿易は軍需品供給に急にして又他を顧みる能はず、独り我帝國は絶東にありて東洋の商權を掌握し、以て戦後來るべき世界的商戰の巷渦に投ずるの根底の建設に日夜頗る多端なり。この痛快なる前途を有する本那の実業家正に自覚奮起する所なくして可ならんや、特に洋々たる前途を有する一橋同人の双肩、將にこの大任を負はざるべからず、吾人の運命や又多幸なるかな、然し而してこの大任に堪ふる一は勿論学理の研究、人格の養成にありと雖も、又經驗を基礎とせる實際的智識の緊要欠く可からざるは又多言を要せず、本会は実にこの必要に応せんがために存在するものにして、本会の真意義は実に茲に存するなり。

先輩諸氏の汗苦と学究とに成れる実験談、会社工場の実地視察は正にこれ吾人将来の經綸の基礎なり原動力なり、新進氣鋭なる予科生諸君為すあらんと望む士は来れ吾人は双手を挙げて歓迎せん。左に本會会則を紹介せん。

一、本會ハ一橋商工研究会ト称ス

二、本會ハ商工業ノ実務的方面ニ関シ諸般ノ攻究ヲナシ併セテ會員ノ親睦ヲ計ルヲ目的トス

三、本會ハ其目的ヲ貫徹セン為メ毎学年十六回以上開會ス

(一) 商工界先輩ノ講演

(二) 商社工場各商工機關ノ実地見学

(三) 商工業ニ関スル問題ノ協同研究

(四) 其他委員ニ於テ適當ト認メタルコト

四、本會ノ趣旨ヲ贊助スル本校在學生ハ何人モ會員タル事ヲ得

五、本會員ハ第三条ニ定ムル凡テノ事業ニ当然参加シ得ルモノニシテ、工場社ヲ実地見学ニ際シ、人員ニ制限アル場合ハ本科生ニ優先權ヲ与フ

六、委員ノ意見ニ基キ本會員數ヲ限定スルコトアルベシ

七、會員タラントスルモノハ委員ノ承認ヲ受ケ、入會金トシテ金十錢ヲ納付スベシ

八、會員ハ一学期會費金二十錢ヲ納付スベシ

九、本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長一名 幹事二名若クハ三名 委員各学年ニ二名若クハ三名

十、會長ハ會務ヲ總理シ、委員會ノ決議ニ依リ本校教授中ヨリ之ヲ推薦ス

委員ハ本會ノ庶務會計其他一切ノ事務ニ関シ、連帶シテ責任ズルモノニシテ、會員ノ互選ニ依リテ之ヲ定メ、幹事ハ委員ノ互選ニ依ル。役員

ノ任期ハ一学年間トス。但シ再選ヲ妨ゲズ

十一、將來本會則ノ變更ヲ要スル時ハ會員ニ附議シ其多數決ニ依リ之ヲ定

ム 以上

吾人は茲に予科生諸君の歓迎を兼ね、最近南米智利より帰朝せられたる先輩草刈元氏を聘し、第一回例回を五月十七日午後三時より学生集會所に於て開催せり。

奈佐、石川、上田諸教授を始め出席者總數五十名、先づ則武委員の開會の辞に次いで委員の大正四年度本會々計報告及事務報告あり。石川會長の本會に關する詳細なる説明ありて後、愈々草刈氏の講演に入

れり。

氏は「日智貿易と吾人の覚悟」なる演題の下に、多年の研究と実地視察とを相照合し、その蘊蓄を縷々吾人後輩の爲めに披瀝せられたり。終りて茶菓の饗応ありて、多大の成功を修めて第一回例回を閉会したり。

吾人は雨天なりしにも不拘、吾人の乞ひを容れて殊に御出席の上最も有益なる御講話をなされし草刈氏に対して万腔の謝意を表すると同時に、会員の諸君の益々熱心ならん事を祈るものなり（尚草刈氏の講演の大意は別掲につきて見らるべし）。

次に本会役員の氏名を掲ぐ

会長石川教授

委員本三ノ二則武利孝

同 本三ノ五喜多村高敏

同 本三ノ四野村寿俊

幹事本二ノ二田辺俊介

同 本二ノ四中村 徹

同 本二ノ六丸山徳三郎

委員本一ノ三小林信五

同 本一ノ四池戸久太郎

同 本一ノ五鈴木賢太郎

同 予科ノ一荻部俊昌

同 予科ノ二谷 嘉七

同 予科ノ三桑原圭三郎

## (12) 一橋 曆

### ■四 月

春光が何時とはなしに焰の様に、碧空を漲り流れ始めて来た。草木一切は蘇つた様に芽を吹く。

物皆は抵抗し難い、無限の力を以て、無造作に再生して行く。春と新生、——其所に云ひ知れぬ希望と歡喜がある。

十六日、第一学期開始、此日新入生の爲めに入学式を挙行せられる。金光燦然たるマーキユリーを帽間に戴いた三百有余の欣喜の顔が大講堂に満ちて、謹直温容な校長の訓示に、先づ希望の輝きを更らに新たにする。

新学年の組、時間割が発表せられると、未だ充分其気にはなれない、乍らも、兎に角進級の事実が具体化されたやうで、殆んど新しい学課目のみなものも、何れ喜の種ならぬはない。殊に新入生に対しては種々の不慣れ、不勝手も、やがては楽しい悦びとなる。

山桜既に散り、八重の花の信りも既に話題に上る頃講義始め、参考書紹介に一週余りは唯慌しく過ぎ去つて了ふ。一ツ橋を渡つて体操場へ急ぐ新入生の中に、チ、ラ、ホ、ラと和服姿の交じるのも、すべて若々しい印象を与える。此日頃、消費組合はノート、教科書の販売に、殆んど天手古舞をやる。

掲示場は朝毎に新しい貼紙を加える。県人会、クラス会、一橋各部、一橋青年会、商工研究会、東亜クラブ等の新入生歓迎会の掲示、果ては、時間割変更、休講の学生課掲示、新任、解任の諸先生の掲示